

鈴木鎮一先生の 指導用語事典



ヴァイオリン科指導曲集第1～3巻に準拠した
コンサートカード(宝くじカード)セット

- ・1巻 23枚
- ・2巻 13枚
- ・3巻 8枚
- (各大当たりカード1枚つき)
- ・コンサートカードBOX

1,200円
※ピアノ科用、英語版もあります。
お求めは、才能教育研究会各事務所へ



・コンサートカードBOX

ここでは、かつて鈴木鎮一先生がレッスンで使われた独特な表現や用語を取り上げ、その内容を先生の言葉とともにお伝えします。今回は、毎日のおけいこを楽しくする学習法として考案された「宝くじ学習法」(宝くじコンサート)です。ご家庭でも実践されることで、お子様の潜在的な能力を上手に引き出し、意欲にあふれたおけいこになります。

20 宝くじ学習法

生徒 鈴木先生、毎日のおけいこをがんばっているのですが、時々やる気の続かない時があります。どうしたら、がんばる気持ちを持ち続けられますか？

鈴木先生 悩んでいますね。一つの曲ばかり、根を詰めていると「もっ」としっかり弾けるようになるまで

という気持ちが強くなり、長い間、同じ曲ばかり繰り返し返すことになりました。そのような時に、いい方法があるので紹介しましょう。「宝くじ学習法」(宝くじコンサート)です。

生徒 お母さんが好きな「宝くじ」は、いつも当たらないとほやいています。

鈴木先生 先生の「宝くじ」は、よ

く当たります。おけいこの中で、これまでマスターしている曲のカードを箱に入れ、それをくじ引きで一つ選び、その曲を演奏する、という学習法です。

生徒 ワア、おもしろそう！どの曲が当たるかわからないのですね。

鈴木先生 その通り。くじ引きという遊びで、ウキウキします。そしてすぐに弾けるようになっていく曲身についている曲を弾くわけですから、自信もたつぷり。この宝くじ学習法で「うまく弾ける」手応えを得ることで、新しい宿題の曲にも、すつと入って行けるのです。「宝くじコンサート」と名前を付けて、楽しく行なうことが大切なポイントです。

生徒 あつちでも、できますね。

鈴木先生 そう、特に初歩の生徒には、あきずにおけいこをさせる上で、とても効果があります。「リズム」の生徒でも、キラキラ星のリズム(この宝くじカードを箱に入れておいて、「リズムならできるから、リズムで宝

くじコンサートに参加しよう」と声をかけることで、意欲をかき立てます。それが能力作りにつながるわけです。

生徒 「何が当たるかな」とか「あれが当たるといいな」と、何だかワクワクしてきました。

鈴木先生 大当たりのカードも用意しておくといいですね。このカードを引いたら、自分の最も好きな曲得意な曲を弾くことができます。そうすることで、やる気もどんどんわいてくるはずですよ。おけいこの自覚を持たない小さな生徒にとって、すべてが楽しい遊びであることが、いい環境です。そして、あきることよくあること。タイミングを見て「宝くじ学習法」を実践してみましよう。必ずや、目の輝きが変わり、喜ぶはずです。

生徒 鈴木先生、早く「宝くじコンサート」をお願いします。

鈴木先生 それでは始めましょう。用意はいいかね？